

動植名彙

五

三利 /
1275
5





動植名彙五

鳥類

河行

あまとり スカトリ

和胡鷺

何万

字鷺

名駕

アガトリ

菅鳥

田胤化為駕即

和王鷺

藻十克

谷川氏云兩鳥、美狄東海ノ地方ニテ兩ヲヨフ鳥、之兩降ナドシテハ此鳥空ニカケリナクト云太平記ニテマオモテノ羽ツキタル平ヤナクヒヤ漢書ニ天將雨則鷺必知之ト云ル也、許渾詩石燕鳥拂雲晴亦雨

あとり

和鴉子鳥

河上

字獵子鳥

字集鷄

書紀

同廿九十五又

臘子鳥

阿荆

万世

必めらる



何とてうまかりめり帰りくとて送くまゝぬ花為忠
朝臣集 さえつゝ一はりのあま時色く業と事成らる
こそれり

あみりむさハツクロヒス

和殿毛鳥拭 毛也

あみらーりヒタシ

和驛 鳥尾上見也

あこえ

和距 鶏雄佐有岐也

伊字距 亦作肥鶏

あをさき

名鶏 アラサキ

林節青鷺和玉鶏

あをさき

運青鶏 アラシト

あぢむら

林節列鳥 アチ

万三長 おきばい鴨妻よまひく邊津がよ味村尾むが云同

長(つ)い阿避村動云 藻十苗

あぢけぎ

林節鷓踏鳥 アチサキ

あみ

袖中みあふるあみの羽うひのかいもあふんをまののよまよ
る一那 那那云みなるあみのまひとい水をらるあみと
るあり けよともふにとみとかより云大阿よもふを
信友云若狭よてアビとて大あけ大アビとて海河とて二

お水鳥あり 土曜の大きサ一て材多し 墨文はる大なるアヤヤ、
ササシは多羽ふに有るうぶおとあこも水水をつらして浮
何りくのこかりぬよあみのまらひのわひもあーとまあこ

あいろあ

大五 五十六

河以路布・川欽可考

あけつけとり

カケ・ニハツトリ・ユフツケトリ。
ニハトリ・ツケトリ

夫 久安廿三年正月云々源忠季久ゆりこのからぬをばり

なまーあけつとりはなまうりせの 十五番歌合つりあき

乃まよそうハ流しゆくはなまの祐とや鳴らん

林節草掛 タカケ

大五 五七

都介共利乃加比古乃黄汁

云々枕六 十五

紀十七 九

你藩都等利源緒用 十三 あき

兼盛集 十四

あをききー

名鶏 又 鶏 又 鶏 アツキ、レ

あまひ こまあひ可参考

紀廿九 四十二

枕三八 あまひ

こまあひのおなれとあまひとあまひなり

人のつらんことをまねつらんよ

あひる オホカリ
アヒロ

あいろ

紀十四 廿

賊 アイロノオホカリ
アヒル

あーたづ

万二 五三

君よーい痛毛はふと芦鶴

の祐とのまあきあき

よひうー

誤解 神所

あしかも とうまゝ糸

あささき

万七九 山のふみゆき 杖沙のゆきそ ぬんせいの 湯は浪は
あゆめ 頼政家集 物言集 あささきの海よりを足後
せし家よりの信石のほ島 八雲御抄 秋紋ナリ
藻十品

あまのめ

和玉鶴

あまのす

新六

伊

いゝるが

本和下 三 鶴

以加苗加

字鶴 又鶴

和鶴

字鳩 イカルヘ

林節 鶴

イカルガ豆耳 鳥也 或作班鳩

藻十 七

万九山上億良矣 類聚歌林日記曰 天皇十一年 己亥
冬十月己巳朔壬午 幸于伊豫温湯宮云々 一書云是時
宮前在二樹木班鳩此米二鳥大集時 勅多掛稻穗而養
之乃作歌云々 又三長あかつるよいうたかけ

いふお屋せり

和 神代古訓 鶴領 イナラセトリ

新万土 秋五

稻

負鳥 古今

藻十

うたう 字考の可合考

類篇云天治本字
鏡與鳥鷓鴣三
同全據反去鳥
厭鳥鷓二日共月
反八日上字鳥鷹
其本字鏡鷹鳥其
月反自鷹鳥力
良須鷓全據反
鷹力良須也
鳥人依之如此書
夫 空家卿 みるのくれそよみ
忽いこふふすこ
松葉集三夫木抄ニ引テ此哥ヲ載ス
普通本ノ夫木ニ脱タリ
四國

雜記河越とつらあよつり云々歌よこふ返るえそ若き
りヤスカタヲ諺ニ似タリ木曾路御嶽ト細久手ノ間ニウトラ村アリ善

知鳥ト書ウトラ坂氏云フ坂路モアリ
按ニ字鏡又東鑑キヨクウタウト書(一)カノ字音タウ
ト假字ニ用少ク格別アリ

うみわも
字鷗

えつさい 衣 たぐ糸

於

おろり

本和下土 鶴於保 和鶴於保 小鳥似鶴巢樹者也 和王鵬

又鶴又 鶴又 鶴又 天武記下世二 日中教百鶴於

大宮以高翔於空四射而皆散 叙記鶴於保 正字通鶴鶴同

風俗歌歎於保止利乃波称仁之毛不礼利太礼加佐伊

不知止利曾佐伊不加也久支曾佐伊不見止佐支曾

京子利支天佑伊布師光家集 喜 其夜大鳥とる風俗

あつとるこれーまゝもあつとる大とりのぬえい

のまおとりのまおとる 万大鳥羽易モカヒトヨムキ

陸奥人佐藤方定云己が遠祖居城ヲ大鳥城ト云リ其ハ鶴ノ瑞

ヨリテ名付名傳説アリ今モ国人ハ鶴ヲ大トリト云フト云ヘリ按古ハ

鶴鶴鶴ナトヲナベテ大鳥凡ハ或ハ別チテモイハルヘシ古ノ物名ナ
トヲ呼ヘルハオホツカナリシニ鷹ト云テ物名ヲサマシ別チル名ノ凡
ニ同シサ又風俗ノオホトウモ田舎風ノ哥ナレハオホツカニ雀重ト心得
タラカ多雅ナレシ万テ大鳥ノ羽翫乃山モ其意ト心得ヘシ

おほわー コウシ

和雁 於保知之 和玉鷗

名

うつ不 後後上中

万十六 元 志ふたよの二上山よ録者

そ子うむとあさー 羽も君うの為子録者そとむとふ

おんにう 多カ糸

和大鷹 於保 和玉鷗 入斬鳥

おんとし

大五 五七 表々度比

おすめとり ウスメトリ

和玉鷗 又 鷗字護田鳥

おんをととり カラスの糸よとめ

加
カヒアシカシ

本和十

教鳥筋

鴨

加毛

和傳白鵝

加匝

教鳥

加毛
字鴨

和

和玉鶯

又鶯

又鶯

又鶯

又鶯

又鶯

又鶯

又鶯

又鶯

又鷗カモ

藻十九

万二六 ありげーかものぬびひよーもやうていむもあて
ソーおるも 同四 鴨鳥のあそふ池よりの茶れち
てうらうらむわがもあくふ 同三 缺 けーきやーいりあ
りせいぬかもあるやうりあびあふ 土佐日記上十五を
ーおるやーとまるとけーいりのうちおれていそこれ
はきよらま 拾遺冬 池のや氷とらんあー鴨の腹やう
おろのささくあふ

かりヒシクヒ

本和土 鴈肪 和鴻又鴈 字鷓 和玉鴈又雁

又鴻 撮壤菱喰七 藻十十

万二九 とくたかくのせー丁のこすぢらびまゆの岳よ
とびうしとこまふらひーいかりままのわら又六世あ
たふいれびよほりータされい山花もら鴈一平も

かきくき

本和土 雄鶴 飛駁 加佐と岐 和 和傳雄鶴

加佐と支五月晋 練鶴 加佐と支 字集鷓鷓鷓鷓鷓

撮壤蒼鷓 紀廿三 同廿九四二

拾介一古鶴抄、和玉鶴 同藻十廿

六帖 うきき、和やまのきやうとまかきまのきあ

このちーまおやおらん 以家新古今神祇子有かきまの
祇とひるまきゆらる夏の上流の月そわ

かやくきカヤクリ

本和土 高雀 加久岐 和 運萱潜リヤク、

名鷓カヤクキアトリ 字集鷓カヤクキ 鷓サレカヤク

和玉鷓又鷓カヤクリ 字鷓又鷓又鷓カヤクキ

拾遺初名 名くま何とるまの姿あまをくはや

く花の名うそすうれ

かきくき

和鴨鳩 加久加乃止利 名覚賀鳥カクカソトリ 紀覚賀

鳥 加久加乃 高橋氏文考と委くくろ 寛平縁記亦問公入

海之由八眼啓曰度駁河海中有鳥鳴声可怜毛羽奇麗

容鳥のちあ〜とをぬく〜六帖 うねり かなりのまふ
くさる〜春の野のまふ流 けい鳥すま〜
いぬまふ〜かなりのうねみえ〜
為忠朝集朽木務め〜と海かなりのつ〜
あよそ〜

藻十共ウ 又十六 哥林撲楸 沢江ナトニ集ラトル鳥ニ
カトリ 俗言カホトリの本を脈カ

かくしふと フクロフと同物
サテホクローツク

名鴈泉カレレ 和

字集鷺ツク 伊字ツク

源蓬生もとりあれを〜
〜うけ〜

本和下五十四

初タノ〜
〜

かい

字鷄

か

名鷄カレ

か

歌林撲楸 カウナキノカヤユトリ云々カヤユトリ 豆鷄云野モ

山モミナ身入ニ雪乙ハ宿ノツチニテ鳴カヤユトリ

かろあ〜

名神鳥 カウナキニトハ 枕言トリ 和

大五毛 之度ニ字集鷺 紀廿九廿 泉鳥 此言芝苔

鷺 字集
カウナキニトハ
字集

夫 七七 定家 人ともぬその山法師のけりしとよかきぬのをとよ
しとよあり土御門院御集 類聚本 志とよくい部の
竹のゆあけあつとよのあつ人とはすて

かきし 名鷄。 鷄 カキシ

かきめ ころら糸

かきり ちかきけ

サ藻 十廿九

かきどり

林節鷄 カキドリ 廿藻 十廿九

夫 廿 ありそいふうふふの推業よりとよあつあ
あはりしと

かきちどり ちとら糸

かきしき

小大君家集 十七

かやくさ

名鷄 字鏡鷄

藤為忠朝臣集 かやくさのちとら糸のちとら糸をちとら
さゆ極まけりやつとら

かひつぐり

林節鷄

かけ アケツケトリニハツトリニケケトリ
ニハトリニツケトリニクタクカケ

古事記 神 糸波津登理加祈波那久云々 継体記

万七四 庭津鳥可鷄乃垂尾乃同 十一 四二 ちのとことかけらる

幾

きんきん

きんきん

きんきん

本智土雄岐之和

紀世三白雉

同十七歌 和玉鵲。鴝。雉。鳴。雀。 枳。蟻。之。藻。十五

万八十九春のねまふあさるきこーのほまきひまおのうけなり
と人よあましつ古今 誦御平貞文 春のねまふあさるきこー

きんきん

林節鶴 キクイタキ

きんきん

きんきん

くそとひ イミツクハツ
イマカマ

和鳥會此イ本按美々豆久也より 和玉雉

宇治拾遺二品

くそとり キハシラ

和鳩久呂止里名鳩キハシラ 字集鳩ヒトヲクハシラ

リフクク鳩古慧及古穴及 林即鳩クハシラ

土佐日記廿日いものときまかりよまかりよふかてくそとり

くそとり あまつけとり糸

くそとり

各鷄草々

くそとり イヒトヨ いいとよ糸

くそとり

紀世三

統紀一十五文武天皇四年十月直廣肆佐伯宿祢麻呂等至

自新羅獻孔雀及瑠物

くちば

和鶯 久知波之

くちば

和啄 久知佐木

計

けひたの

和玉鷲

けらつゝき

列鳥又鳩和玉

廿

古

こわ

おほゆ

伊字鷲

このり

伊字兄鷲 コリ 似鷹而大鳥也

こた

聖鷲

こふ

こいた

和寒鷲 古伊太流止比

こい

林節五位路鷲

鳥

志らきと

續紀一七

文武天皇三年三月河内國獻白鳩

志らきつと初とツハメ

續紀一九

文武天皇三年八月伊豫國獻白燕又三十慶雲元

年七年凡京職獻白鷺

志やくなき

和玉鴉

志やく

和傳鷓鴣

之也古藻十元

志らきかじ

和傳鴉鳥

之呂岐加毛

志らさき

字鷓又鷓

湏

すめめ スミミ

和雀 湏ミ米 和玉雀又鷓又鶉ス、本和下土

大五共 湏ミ米枕三九カ、ら何きすめめ同二十四 はすめめ

のこよひ 紀五十雀ス、同廿四 雀鳥ス、拾芥一十三

爵ス、六百番 冬朝 林節雀ス、ミ

すめめのこ

和玉齋ス、メ 名爵敷 スミミノ カヒエ

すくみたろ タカ たろ糸

すくたろ タカ 糸

名鶴 タカ 又

すいとり

林節鸞 色而改鳳凰

信友業之度和声ナドヨリ出タリ

すあとり

名鵲 スナトリ

すがどり

あまとり糸

伊字鴛 スカトリ糸作雀
田胤化鳥一是

万三草

志くまら初又の細江の夜多の姉よら子水やんを

花多つる

す
スク

和菓 源久不

すのり

和鴈 卯不鴈也
源毛里

頼政集 志

あひうらむは侍一女のやうとこは家業とあり

てりとをみ侍ける山里へわらうつるもすそそまのうらふらす
ともかあくは夢かとり葉く侍一のゆとらうりひつか
もしーらる鳥の子侍てゆりよとふ身あむせにうらて
おしねのはさきまう

すたち

瓦瓦 とうたてふひーわらう子梅ふいまあとのとふ
とむえうらね

世

せりさぎ

運徴鷲 サキリ

せくら

運符黒 セクロ

せまひ

大五騎 世布比

せう

なう糸

曾

そら

和鰹 鷲鳥食已吐其皮毛如丸也

そひ ソヒハシラ

和鵒 曾比 字集鵒 ソヒハ 翠鳥 ソヒ 伊字鵒。鶺鴒。鷓鴣。

水狗 ソヒ

その ソヒ

和玉駝

そふ

字鵒

太

た

クチ・オホタカ・コリリ・ツミ・ス・タカ・セウ・ハシタカ・ダイ
カハル・クミタカ・コタカ・ス・ミタカ・シラタカ・ツフリ・ノセ
ヤマカヘリ・オホ名・ヲキエ
ハヤフキ・エツサイ
和鷹雅云一歳名之黄鷹鳥俗云和賀太加二歳名之撫鷹俗云加太鷹鶴総名也

三歳名之青鷹今俗青白隨色名之俗説鷹白者不論白鷹唯雄比白名之良太加賀不論青白大者

皆名於保太願小者皆名世字漢語秋用兎鷹字為名所出未詳俗説雄鷹謂之兎鷹雌鷹謂之大鷹也

和鷓波之太加兄鷓古能里鷓子都布鷓屬也鷓乃世。波

鷓屬也雀鷓源美多加善及雀者也雀賊悦哉小鷹也

鷓八夜布佐鷹屬也隼訓上同鷓鳥也大名祝鷓鷓加閉

大五十三也方加倍流撮壞山廻ヤマカ林節山鷓ヤマカヘリ
同弟鷹鳥ダイ万十七長矢形尾乃安我大黒南鷹之各也之

良奴里能鈴登里都氣底云々拾遺 物名なりはあも雁書
のをきんみせんといふ人なるなりはあもる活字といふ
つゝ散木集 クナ

堀大百首 哥散木集より同 同やうを六帖ニやうを

伊字青雁鳥 モロカヘリ 又黄雁鳥 ワカタカ

紀雄畧紀 三歳雁鳥也 同十七集

又雁タカ 一歳 和玉雁鳥又執鳥

六帖 為家 名ツミ

たづ オトル

和鶴 查 和玉鶴 藻十世

万一 芒 やまといひのたづもぬよころなるものさき

又多津鳴信思哉同十六 多頭我鳴乃今朝鳴奈信亦云々

信友按又雁子とりよとて同 鳴声とらたる者より哥
河あり拾遺 伊勢 大そふりれりたづのけみよおも
ふゝゝゝのたづあり

たとり オトル

和鷓鳥 多止 字鶴 撮壊鷓 ヤマトリ 林節田鳥又鷓

名り 信友按業野令宮三月十日鎮花祭アリ其謡歌舞連真

筆社司鈴木氏ナリ其謡詞ニたとりたづありトアリ山鳥ノ事ト

キニ但シヨ論フキ事多トハ別ニセリ

たかべ

和鷓 多加閉 字鳥尾 タカヘ

万三十六 人こころあはるもあはる 高部と

おなののよすむ 赤津衛門家集一三

つひルヒス

つひす

和華尾又遊乳 都流比イ本ノ一頂
俗云由比トアル音

つる 乃づ糸

和玉鶴又鷄又鶴 字鶴

つり 乃づ糸

和玉鷓

つみ 乃づ糸

つと

和鶉 豆久見

和玉鶉又鶯又鶉又鶉 ツクミ 字鶉

古今集

拾遺 物名つみ わらわらあやーくはまもなれいむり

つくとつてありん 古今席志 再ナリ 咲もれよあひつくと

あぢきあるさよまのりさのりもきとをそ

つく ミンツク
スクハイマタカ

名木兔 ツク或云 字木菟 和木兔 都久 美 都久 紀十三

同十五 五七 豆久度利

三類歌合繪巻物ちかひ大福よに福とそんつちぞんを

みづづかともゆるり云と土御門院御集 豆久の山海

まひみづつくに世のさき事をさかやあひよ

つく

新韻鷹 ツクリ 白鷹 似雁毛
白捕籠也

つちくれ もと糸

林節鳩

つとり

林節都鳥

つまふほーらイオホセトリの糸

つふもせとり 同上

つきタケ たる糸

字鷗又鶺鴒

つとり けとり糸

つらむ

和啄都以波無

つげ

和淋滂 毛羽初生貞也
豆ヶ

つらむ

和翼都波佐

万三三鳥翔成ありういつみめまむととけーら糸
男の志るとも

天

てらつつき

本和下岳

啄木鳥

天良都

和斲木

字鴛寺ツキ

鴛

同鳴同啄同

伊字都

廬

ツキ

テラツキ
又鴛鳥名

藻十共

てらつき

まき

止

とひ 能カシラ

本和^下三 頸頭^{止此乃} 和鴉^{能又ク} 字鴉又鴉又鴉 和玉

鴉又鴉 又鴉又鴉 又鴉又鴉 又鴉又鴉 又鴉又鴉

藻十苗

枕三十 とひ 十訓一苗 あゆみよりて足れい左のよ

あおそろしーけるやとよりめいめい

あまきとくとう いまおんせとう

とさ

撮壤集鴉^{トキ} 鴉誤カ 和玉鴉又鴉

とり

和鳥童

曾丹集 曾中 かしらの池のわのりけーよりやまのりらと
そつちのりら

にこけ

和 林節 毛託 三三

奴

ぬえとり 又エトリ

ぬえことり

万一か けいさあをりさ 奴要子さうさきとれい
万二世 ちあやうふ 宿元鳥の斤立はまら 同七長
まき丹り 宗良の群家 奴要鳥のさなけーた
こいみおひさふれ云々

ぬえ 又エ
ヨミキトリ

和玉鶴 又鶴 又鶴 又鶴 又鶴 又エ 藻十丸

ぬえ

字鶴 又エ 鶺鴒 同 林節 經 玉篇曰音夜日本俗作鶺
即源三任頼政所射者也

ぬらめとり

後京極膺三首首

冬

たりのとるこがーのうちのぬらめを

こゆるは根のあきををぞーる

西園寺殿百首

こゆるを

一夜のたりのぬらめとりもあつこころはあはれある

但此寺
楠本

口みぞ

きーどの書とふせにわくわかの百首の美かなづー

祢

ぬらめとり

伊字 宿鳥 ネトリ

のせツリ乃
タカ
和鶺鴒乃世鷓之屬也

はーふとり

大正八ニ波之布度利

自氏集

倅す子鳥のことなりー俗にをーつと鳥とよぶものあり

はつとろひ ヒキツクロヒス

和刷蕩鳥理毛也波都久呂比

は

和羽波

はふろ ハラツ

はろろ

和翁 飛葦也波布流

はね

和翻 八称羽本也

はねい

万一共 あー申鴨の羽我はよおふろーとふとやん

ハシーあゆむゆ

はーとー あまのこ

はーとー あまのこ

和玉鶴

はことり

夫箱鳥 六帖をとり みやま本より耳をなくは

こまのあけい海人事をとるゆりー春たてに燈をこま

つあくとまをのめもいそぐあまのふねーも月りう

すおもゆりやまをのあてるやまの成るるか

鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ
鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ
鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ 鶺鴒ヒトリ

本和三 鶺鴒比衣 和玉鶺鴒藻十 鶺鴒比
和 林節鶺鴒比 鶺鴒比 鶺鴒比 鶺鴒比
為忠朝臣集 老き日の志き乃枝よかまひすくそよ
とらふはゆりゆり 土御門院御集 ぬるちあま
すもろぬひえちこころあらずも世をすこよ

ひめ 志め糸
伊字鶺鴒白鳥也 鶺鴒同 鶺鴒同
ひめら 字鏡鶺鴒

ひから 運鶺鴒ヒカラ 林節鶺鴒ヒカラ 草節日鶺鴒ヒカラ
ひわ 林節鶺鴒ヒワ 和玉鶺鴒ムキマキトリ

ひきつくりひす 枕三ハ 枕三ハ 枕三ハ
和和 鳥理毛也 前見タリ
ひたれ あらりーり糸
ひあとり 糸
ひあ

六帖ひあ 六帖ひあ 六帖ひあ 六帖ひあ
六帖ひあ 六帖ひあ 六帖ひあ 六帖ひあ
四十八

杖桑畧記廿三裏書 延喜十六年七月十四日夜五條后宮
 松林佛法僧鳥鳴衆人聞奇異自去三日講法華經玉
 造小町仕衰書池鳥轉三宝浮沈往來飛躬恒家集 甲丁
 新千載尺教

雅言集覽所引
 新撰六朝の尾の審三行のあまのたあまをまはせは仙法信りく 三丁の甲をたのめり
 八道にほわくそくといふまのあまのたあまをまはせは仙法信りく 躬恒集に延喜十六年八月十日庚
 臣のあまのたあまをまはせは仙法信りく 三丁の甲をたのめり
 ナルベシ 亦内侍日記建三年二月十日仙法信りく 三丁の甲をたのめり
 ゆらんふうれししをみるの降る日いことたはるるをみる 三丁の甲をたのめり
 三丁の甲をたのめり
 三丁の甲をたのめり
 三丁の甲をたのめり

保

ほろり せり余

ほろり

出雲風土記法吉鳥

ほろり

運鳩白

ほろり

和鷗鷗鳥 保度々木浪 撮環郭公又時鳥 字鷗又郭公鳥

和鷗鷗鳥 又鷗又鷗又鷗又鷗 嶋又鷗 社一藻十七

万三四六 畧 郭公時鳥月二あやめをく鷗とむしめ畧

又八三三 足引の山をく鷗とむしめ畧

畧

ほしーとら

大五四 保度之止利

ほろろふ

さろろふ糸
かられと

ほろろキ

和傳雉 保之又

ほことり

和玉鸚

ほろむ

トリノウキノシタケ

和

鳳凰

藻十丸

末

まーとら テリマシ

夫増子鳥

林節鴉 マシ

古藻十世

まろり

夫松毛

藻十世

まろり

運班鶴 マトラウ

まろろつかみ

林節鴉 マカミ

まろろら

そい糸

字鴉 又鴉

まろろまーのとら

いろろ糸

穢壞鵲 マノウイ
 豆耳鳥也
 林節鵲 豆耳鳥
 マノウイ
 太五 六 万利之万介利 藻十七
 まけり 豆

美

みづく ツク。スク。ミソカヒ。
 伊字木鬼 ミソカヒ 藻十共
 みまひ みづく糸
 みまひ みづく糸
 和玉鵲 ツク
 みとささ みとささ
 和蒼鷺 美佐木 天
 みやことり
 万世咒 それきり 河川のふさふさふさ
 こやこや 古今
 枕三九 こやことり 本三ことり 十六夜日記 廿日尾張乃出おと
 五二

ふむをよむくさうさうのさうふくそありとさう
しうと都名とふ名のはしと何とあるはは浦
みもありりりあしとせんをいといはらさりし
ふ丁の方のこやこ名も 和泉式部集 詞書前後と考る
上杉はむとさきあ
りやうて流すよ所てきん都名なくさしとさ
ありれまふ 都名とやこのことをいれさきとせよ

伊勢物語

藻十廿五

みどり

枕三八 みどり

平三やコリとけりカクイトよはけりぬ秋考へ

みどり

和玉鷲

みさこ カクガトリ

和玉雉又鳩

藻十廿

伊字雉鳩 鶯加鳥 雉記

同字鳩又鷲

万三世 美沙居 ミサケ いそゆゑあつりそのあまちしてよ

ねやいーくも

みみ

源平盛衰記

那須と市の扇の射
うさるをさる文り 扇はさよとつてさか

はぬたてくしほよありさかのうきすさく

みつこひとり

夫水乞鳥

外記日記

水乞鳥

藻十廿七

伊勢集

山家集

みづとり

新韻鵲 白 和玉鵲 又鵲

万七三浪亭 い 万七三浪亭 い 万七三浪亭 い のらき あ 万七三浪亭 い

みぢり こ

字鵲

みづとり

和璞 美豆加木 鳧雁芝 指間 伊字同 有幕相連者

武

むさし と

古玉篇鵲 年 和玉鵲

む い

む い

林節駕 ム

む い

和朧 鳥藏也 無木

和 めどり 女

名 相 下リ

母

ゆす

本和下音 百勞 毛須 字鵲 又伯勞 和鷓 拾芥一三

鷓 毛ス 和玉鷓 又鷓 又鷓 又鷓 又鷓 又鷓 又鷓

紀土世三 百舌鳥 毛ス 藻十世五

六帖身 春されいり此の字くまきんすも我の足やらん
君うあさうとに 万十世あり 秋のれとむらあすの
あさきくらんかきくわきも 万西土 五とあり

ゆとり

万世十 ゆとりりのからいしもくアーら徳い

ゆのみ

和藤鳥受食也

也

やまとりタトリ

本和下土 山鶏

和

夫鶏

名鶏ヤトリ 撮環鶏ヤトリ 和玉鶏又鶏又鶺又鶺

又鶺又鶺又鶺又鶺 藻十六

枕三八 山とりい友ささひささみと 尾せこれい

さびんいとおれある谷たてさるりともいさ

ろくろーさく万八廿三 ありの山香ふてい家も向り

つまといすくふらせよの人をそれやふまはとか一日一夜も

をそれあてあさきこやんさく八雲御抄

俊頼卿無名抄

童蒙抄

やまはらと

和玉鳩 字鴉

やまかゝあ 鳥カ尚考へ

大四土 世五 也万加古女

やまの 子ケサル

和

やまがらあ ヤマカラメ

やまのうら

字集鳩 ヤマカラ 林節山柄 ヤマカラ 和玉鴉

拾遺 物名 やまのめ 紅葉もよ 夜の多かき 子けり 秋の山

かめりうー ちふ六 芒山 かのまら くらみのとま かく

よまありうー ふをむり くり 太平記山が くのまのよ

やまがらす

和玉鸞 又鴉

どりをうらのまき 平家物語八六

やまはらさサキ ちさく糸

やまのめ

林節鳩 ヤマス、メ

やまのうり たか糸

やかゝを 同上

やまのこ 此名 ちさく糸 参考スヘシ

正徹家集 魚そりうき 身をそりぬる 海風よそ

溪やまのうりのとり 藻塩草 子代ゆふあまのあま

かきゆり ちさく糸のなる

やつとり サツトリ

伊字騮踏 ヤツトリ 可考

由

ゆつとり カケニハトリ
アケツケトリ

後撰 雜ニ ヤマシ 付てあはらまはさふあゆむを信々

まろの及子岡院の御り あままろてを口吟せん

ゆき色のあんと あつる信々ねむるはるける 解り難

あつるのゆつとり あつるのあつるといふをけりす

みんり

與

よふことり

和喚子鳥

鳩

藻十五

字鏡集 鳩 社一三有鳴

鳩同書ニ入

ヨヒコトリ

一万十花 大和のいづれにうらうらんと呼子鳥さきの中山よひとあり
信安説列あり

よすめ

運草雀 ヨレスメ

よみちことり ヨミツトリ

拾芥一せ ヨミテトリ又又エ又ヨミツトリ

よみつことり 見上

よこことり

和怪鵠 与多加 字鷗
よふとり ウトウ
歌林樸檄拾遺

和
オホワシ
ユワシ
字鷗 又 鷗

和鷗 又 鷗
ス鷗 又 鷗
鷗 又 鷗
雕 又 鷗
藻 十七

新韻彙 駕也
ヲカモ

なちがとり

藤為忠朝臣集 尾長香 とむふよささるやほつき尾

とりあききてとりもほのくさる

とさきふ たか糸

と

和尾子

とさき

和

